

2022年度 横浜市国際学生会館 報告書

ANNUAL REPORT 2022 YOKOHAMA INTERNATIONAL STUDENT HOUSE



2022.7.23 地域貢献事業

公益財団法人 横浜市国際交流協会



目次

第1章	2022年度 学生会館の主な取組	1
第2章	事務事業体系図	5
第3章	会館の概要	6
第4章	総務関係	
1	宿泊施設の提供	7
2	危機管理	9
第5章	自主事業関係	
1	国際理解事業	10
2	地域貢献事業	13
3	留学生支援事業	14
4	行政施策への協力	17
5	広報事業	18
第6章	イベントカレンダー	19
第7章	2022年度 予算決算書	22
第8章	留学生統計	23

第1章 2022年度 会館の主な取組

新型コロナウイルスの感染が少しずつ落ち着き、留学生の入国への制限が緩くなった年でした。国内外で感染が続いており、緊張感の中で新年度が始まりました。年度初めは、留学生の入国に制限があったため、空室が生じたことから、2次・3次募集を実施し、入居者の確保に尽力しました。

3密を避けるために4月の新入居者歓迎会はオンラインによる開催となりましたが、3年ぶりに9月の新入居者の歓迎会や2022年度の送別会は対面で開催しました。年度途中から大学での対面授業も再開され、学生たちは部屋から出て、大学に向かう姿を久々に見かけることができました。年度の後半からようやくマスクなしの学生たちの顔を見ることができました。また、感染防止のために禁止していた、入居者同士が集まって飲食することや友人を会館に招くことも秋以降可能となり、留学生のストレス改善にもなりました。

事業においても年度の初めは、オンラインで実施しましたが、秋以降は対面事業（特に出前学習、文化講座）も再開し、会話サロン・グループ英会話などをオンラインで継続的に実施しました。この3年間開催できなかった潮田交流プラザ秋まつりもようやく9月に開催することができました。例年よりは規模を縮小しましたが、会場となった潮田交流プラザ前には、食べ物やお菓子の屋台が並び、多くの来場者で大変にぎわいました。留学生たちは、屋外のインターナショナルカフェを出店して、10か国のお菓子と飲み物を提供したり、地区センターのステージイベントに参加して「民族歌唱」「民族衣装によるファッションショー」「民族舞踊」に出演しました。3年ぶりに地域の様々なイベントが開催されるようになり、各イベントに留学生たちが参加しました。



盆踊りへの参加



秋まつりの様子

I 総務関係

(I) 入退館業務

今年度の募集も少なからず新型コロナウイルスの影響はありましたが、後半に向けて少しずつ通常の受入に戻っていききました。

4月の入居では、5部屋の空室が出てしまったので、昨年度より1か月早く2次募集を実施しま

した。そのおかげで、7 月には、家族室 3 部屋を残して満室にする事ができました。また、昨年度は、殆ど来日できずに、入居できなかった横浜市立大学の交換留学生も、待機期間を経て 20 人の留学生が 9 月に入居する事が出来ました。国の水際対策の規定の改定によって日々、受入体制の変更等のやり取りが多くありましたが、無事に受入れる事ができました。既に入居している学生の健康を守る事も必要なので、慎重になるところが多く、通常通り受け入れるには時間がかかりました。

(2) 建物設備の維持管理

学生会館内の照明器具の LED 化を計画的に進めています。今年度は、学生達の多くが利用する 13 階図書室や 4 階の研修室や学習室、潮田交流プラザ地下駐車場の大部分の照明を LED 化する工事を実施しました。多くの人々が利用する共用箇所の照明が明るくなり、節電効果も期待できます。停電時に自動で点灯する非常用照明器具も、不具合のある箇所から順次 LED に交換しています。

また、老朽化した共用廊下の壁紙や床のタイルカーペットの貼替工事も、毎年 1 フロアずつ実施しており、今年度リニューアル工事を行なった 7 階の廊下は、スタイリッシュに生まれ変わりました。所管の教育委員会事務局では、全居室のエアコン及び冷蔵庫の更新 3 か年計画の 3 年目で、すべての部屋の交換が完了しました。

(3) 危機管理対策

今年度は、通常に近い形の潮田交流プラザ三施設合同の防災訓練を 4 月と 12 月に行うことができました。12 月の防災訓練開催と同時期に、「YISH 防災 WEEK」と題して、防災関連の情報を展示するとともに、RA (日本人のレジデントアシスタント) が自主的に横浜市民防災センター訪問を企画し、留学生たちの防災意識を高めることができました。災害発生時の安否確認訓練も、より回答しやすいように、メールと LINE の 2 種類の送信方法で年 2 回実施しました。

2 自主事業関係

(1) 国際理解事業

コロナ禍でマスク着用が続く中、前年度はオンラインによる出前授業の実施も半数近くありましたが、今年度は全校での対面式授業の実施ができました。久しぶりの対面式交流とあり、児童・生徒も留学生たちも双方とも期待感が高まり、学校での歓迎にも熱が入り、充実した授業展開ができました。

また、従来の異文化理解・相互交流を一步踏み出し、英語でコミュニケーションを図る態度を育む「小学校英語活動授業」や新学習指導要領で今年度からスタートした「高校の地理総合」の授業での留学生の自国紹介など、学校側での新しいニーズに柔軟に対応することもできました。

語学講座 (個人及びグループ) は、「オンライン」形式で実施しました。夏期休暇中、会館で時間

を過ごす留学生も多いため英語以外に、中国語、韓国語、ペルシャ語の多言語による語学サロンをオンラインで実施しました。

母国文化を紹介する文化講座では、近年会館でも入館者数が増えているネパール、ベトナムへの文化理解を深めてもらう講座を実施しました。観光や仕事で現地を訪問したことがある参加者は、留学生との直接対話を通じた交流を楽しんでいました。

また、潮田・寺尾地区センターとの共催講座では、イタリア、カナダからの留学生を講師として派遣し、観光としてのそれぞれの国の魅力について紹介し、質疑応答を通して参加者と交流を図っていました。

留学生の「ホームビジット」も3年ぶりに実施することができ、5人の留学生がこの企画に登録しているボランティアの家庭に訪問しました。

(2) 地域貢献事業

「潮田交流プラザ秋まつり」は、新型コロナウイルス感染症の影響で過去2年間開催できていませんでしたが、ようやく9月に実施できました。主催の秋まつり実行委員会は5つの連合会と3つの施設（潮田地域プラザ、潮田地区センター、国際学生会館）で構成されています。学生会館は屋外にインターナショナルカフェを出店し、留学生が出身国のお茶とお菓子の販売を行い、多くの来場者でにぎわいました。同時に、地区センター内の体育館でのステージイベントに参加し、「民族衣装ファッションショー」、「民族歌唱」、「民族舞踊」の3プログラムを実演し、観客とは質疑応答等を通じ、直接言葉を交わした交流を楽しみました。

小学校で行われた地域防災拠点開設・運営訓練には留学生が職員とともに参加し、地域防災の担い手としての意識を高めました。

(3) 留学生支援事業

学生会館で対面の日本語指導を続けるボランティアの皆さんの活性化として「ボランティア主体授業」を始めました。日本語レッスンを希望する留学生に、ボランティアチューターを紹介するだけでなく、ボランティアの皆さんと交流しながら日本語、日本の文化などを学ぶきっかけを作りました。また、ボランティアの育成として「情報交換会」を開催し、学生会館でのボランティア活動について話し合ってもらいました。

Stock Baseからの提供飲料水、食料品などを2回に分けて入居者に配給しました。年度途中まで月1回のレジデントアシスタントミーティングをオンラインで開催し、秋以降対面で開き、学生たちの現状を把握しました。新しい生活様式に慣れるにつれ、学生たちはオンラインビンゴ大会、花火、などアイデアを出し合って親睦イベントを開き、友達の輪を広げていきました。また、留学生たちのストレス改善と共に学生会館での思い出を作れるように心がけて、学生会館のホールやロビーに集まりワールドカップの試合を一緒に見るようにスタッフの方で手配をしました。

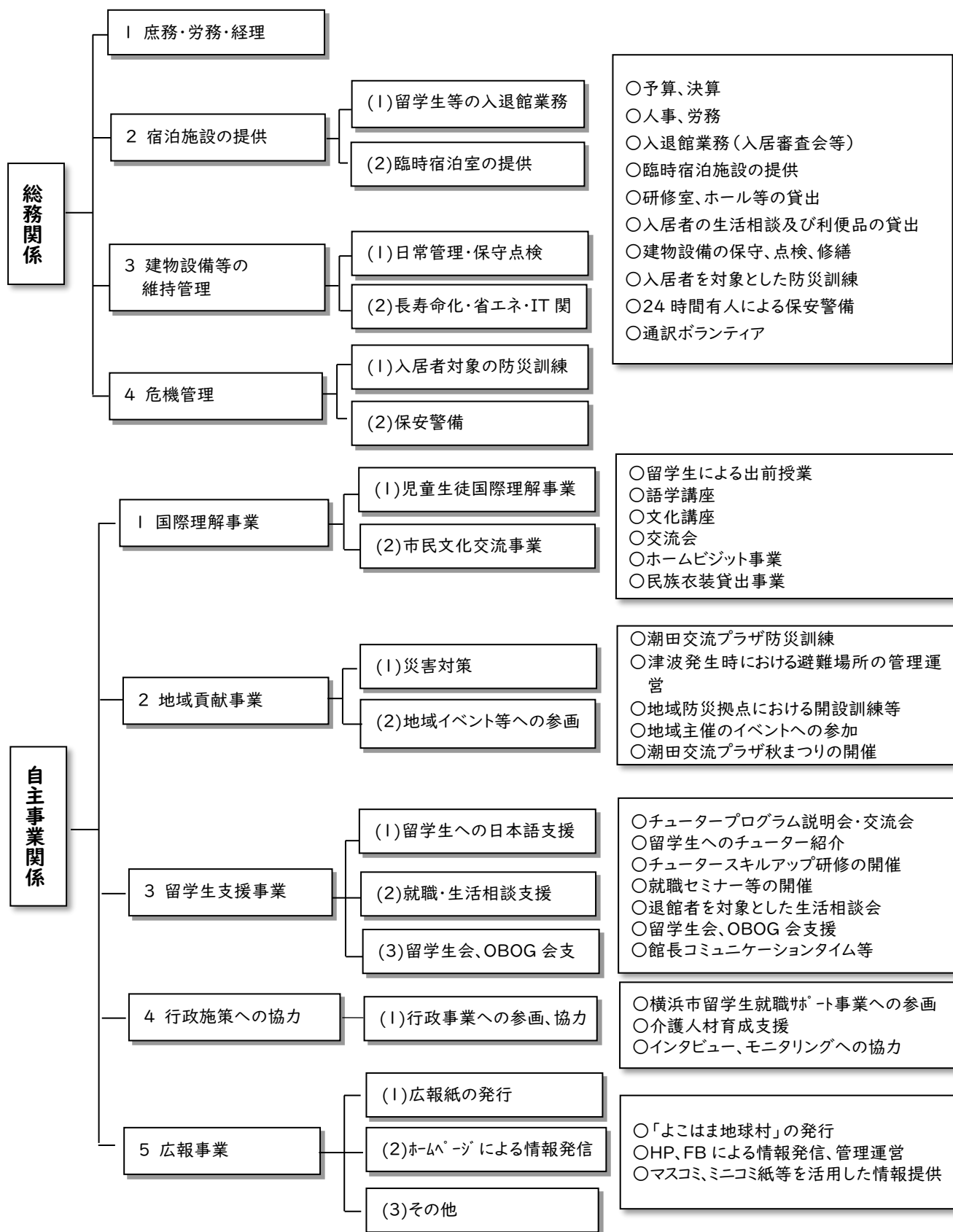
(4) 行政施策への参画・協力

新型コロナウイルスの影響で従来型の就職活動が様変わりしました。インターンシップの機会や大規模会場での合同会社説明会も減りました。学生会館では横浜国大・横浜市大の留学生就職コーディネーターと連携し、ボランティアの皆さんの協力を得て、きめ細かなサポートを続けました。

(5) 広報事業

季刊紙『よこはま地球村』、ホームページ、行政の広報紙、地域情報紙を活用して文化講座、会話サロンなど会館の事業に関する情報を発信しました。

第2章 事務事業体系図



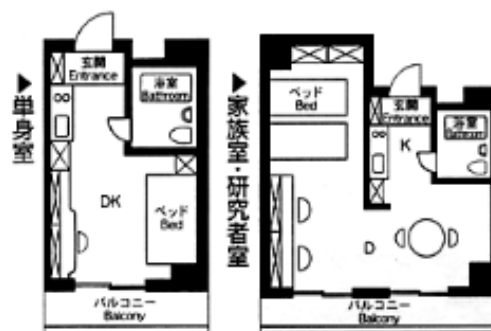
第3章 会館の概要

- ◇設立目的 横浜市内の大学等に通う留学生等に対して宿泊施設を提供するとともに、さまざまな交流事業を通して市民の国際理解の増進に寄与することを目的としています。
- ◇名称 横浜市国際学生会館
- ◇所在地等 〒230-0048 横浜市鶴見区本町通4丁目171番地の23
Tel 045-507-0121 Fax 045-507-2441 <https://yish-yoke.com/>
- ◇設置者 横浜市
- ◇開設日 1994(平成6)年5月1日
- ◇運営主体 公益財団法人横浜市国際交流協会が第4期指定管理者として管理運営を行っています。
- ◇施設概要 建物概要:鉄骨・鉄筋コンクリート造、地下2階地上13階建
総称名「潮田交流プラザ」
1階 潮田地域ケアプラザ、2階 潮田地区センターとの複合施設
学生会館部分施設概要:3階~13階/延床面積 6,969.22㎡
3・4階 事務室、ロビー、ホール、研修室、ラウンジ、音楽室、談話室、学習室
5~13階 宿泊室、洗濯室、図書室、倉庫

◇宿泊施設

横浜市内の大学・大学院・専修学校等に通う留学生や、市内研究機関等で研究するために来日する海外の研究者に宿泊施設を提供しています。また、OBOG・入居者の親族等が宿泊できる臨時宿泊室もあります。

宿泊室種類	室数	定員
単身室 (18㎡)	95	95
家族室 (38㎡)	10	20
研究者室 (38㎡)	5	10
臨時宿泊室(18㎡)	5	10
合計	115室	135人



居室レイアウト(例)

◇研修室・ホール

国際交流や異文化理解を目的とする会合や催しに利用できます。

- ・研修室 2室(定員 38人、18人) / 3階ホール(定員 80人)

◇学習室・ラウンジ

4階に、書籍を閲覧できる学習室とラウンジがあります。

◇生活利便性の提供

全館にインターネット環境が整備されています。入居者は自転車、掃除機、スポーツ用具などを借りられるほか、3階ロビーで新聞の閲覧や、4階音楽室で楽器の練習ができます。

第4章 総務関係

I 宿泊施設の提供

(1) 留学生の入退館業務

2022年4月の入居者は、21か国・地域の77人(留学生67人、レジデントアシスタント7人、研究者3人。)でした。横浜市大の交換留学生の優先枠は25室で、単身室の募集数40(留学生40室、RA4室、家族室9室)、倍率は0.95倍(応募総数38人)でした。

2022年度入居状況 4月1日現在

1 校種別

学校別	留学生・RA			研究者	合計
	単身室	家族室	小計		
1 大学院	33 (2)	6	39 (2)		39 (2)
2 大 学	24 (5)		24 (5)		24 (5)
3 専門学校	11		11		11
4 研究機関			0	3	3
計	68 (7)	6	74 (7)	3	77 (7)

※ () の数値は、RAの人数

2 出身地別 (同居人を除く)

(計21か国/地域)

出身別	留学生・RA			研究者室	合計
	単身室	家族室	小計		
1 中国	29 (1)	2	29 (1)		31 (1)
2 ベトナム	5		5	1	6
3 韓国	5		5		5
4 ハンガリー	4	1	5		5
5 インドネシア	3	1	4		4
6 ガーナ	3		3		3
7 ネパール	3		3		3
8 ザンビア	2		2		2
9 アメリカ				1	1
10 イラン	1		1		1
11 ウガンダ	1		1		1
12 エジプト	1		1		1
13 エチオピア		1	1		1
14 台湾	1		1		1
15 タンザニア	1		1		1
16 ナイジェリア	1		1		1
17 マレーシア	1		1		1
18 南スーダン		1	1		1
19 メキシコ	1		1		1
20 ロシア				1	1
21 日本	6 (6)		6 (6)		6 (6)
計	68 (7)	6	74 (7)	3	77 (7)

※ () の数値は、RAの人数

家族室の子供を含む入居者の総数は、4月時点で14人でした。

内訳は、大学院生39人、学部生24人、専門学校生11人、研究者3人で、大学院生が過半数を占めました。

学校別では多い順に、横浜国立大学31人(30%)、横浜市立大学10人(14%)、神奈川大学7人(9%)でした。



3 学校別

		留学生・RA									研究者	合計		
		単身室			家族室			小計						
		院	学部	専門	院	学部	専門	院	学部	専門				
1	国立	横浜国立大学	22 (1)	3			6			28	3			31 (1)
2		東京藝術大学大学院	6							6	0			6
3	公立	横浜市立大学	3 (1)	7 (1)						3	7			10 (2)
4		慶応義塾大学	1	2 (1)						1	2			3 (1)
5		神奈川大学	1	6 (2)						1	6			7 (2)
6	私立	関東学院大学		3 (1)						0	3			3 (1)
7		東京都市大学		2						0	2			2
8		明治学院大学		1						0	1			1
9		グレッグ外語専門学校			3					0	0	3		3
10		アーツカレッジヨコハマ			2					0	0	2		2
11	専門	岩谷学園専門学校			2					0	0	2		2
12	学校	あずま工科専門学校			1							1		1
13		横浜システム工学専門学校			1							1		1
14		横浜ファッションデザイン専門学校			1							1		1
15		横浜YACA学院専門学校			1							1		1
16	その他	アメリカ・カナダ大卒渡台日本											1	1
17	の機関	理化学研究所								0	0		2	2
		計	33 (2)	24 (5)	11		6	0	0	39 (2)	24 (5)	11	3	77 (7)

※ () の数値は、RAの人数

《満足度調査》

退館者及び延長者に対し無記名での満足度調査を行い(集計数 84)、結果は全てにおいて高評価でした。今年度は、ネットでの授業が本格化したため、不安定な Wi-Fi から有線のインターネットへと移行し、安定したネット環境を作りました。また、サーモカメラやペダル式消毒液を設置し、コロナウィルス蔓延防止に努力しました。

- ・住み心地： 97.6%
- ・スタッフ対応： 98.9%
- ・安心・安全： 97.6%
- ・施設設備： 90.5%

(2) 臨時宿泊室の提供

会館には、入居者の親族や友人、あるいはOBOGが来たときに利用できる臨時宿泊室が 5 部屋用意されていますが、新型コロナウイルスの影響を受けた 2022 年度の稼働率は 42.2% (771 泊) で、前年度比 35.2 % 増でした。



2 危機管理

(1) 消防避難訓練

新入居者の引越が落ち着いた4月23日に1回目の潮田交流プラザ消防避難訓練を開催し、学生と職員をあわせて40名が参加しました。12月10日の2回目の合同防災訓練には41名が参加し、入船消防出張所所長のご指導をいただき、AEDの使い方や心肺蘇生法を学びました。

また、12月の防災訓練と同時期に、昨年引き続き「YISH 防災 WEEK」と題して、3階入りロスペースに防災関連の情報の展示を行いました。RA主催の横浜市民防災センター訪問イベントには13名が参加し、留学生たちは防災意識を高めることができました。



4月の消防訓練



12月のAED訓練



RA主催の横浜市民防災センター訪問

(2) 安否確認訓練

全入居者と職員にEメールとLINEの2種類の送信方法で安否確認訓練を行いました。回答時はフォームに入力してもらうことにより、より早い返信を送ってもらえるようになりました。

- ・第1回(6月14日)返信率: 85%(84返信/99送信)
- ・第2回(1月25日)返信率: 76%(88返信/116送信)

(3) 通訳ボランティア制度

留学生にとって最も不安なことの一つが、病気やけがです。2022年度は、職員が英語/日本語で24件の医療関係の相談に乗りました。

夜間や休館日に日本語を話せない留学生が体調を崩しても対応できるように、入居者による通訳ボランティア制度があります。2022年度は、夜間の緊急対応が2件ありました。

- ・通訳ボランティア登録者: 7人



第5章 自主事業関係

I 国際理解事業

(1) 児童生徒国際理解事業

ア 留学生による出前授業

留学生が小・中学校へ出かけて、母国の文化（挨拶の言葉、遊び、民族衣装等）を紹介すると同時に、日本文化を児童・生徒が留学生に紹介し、相互に学び合う交流が行われました。また、中高一貫校では、留学生の出身国におけるSDGsの話題のほか、日本の大学を選んだ理由や研究テーマ、将来への展望など、生徒自身がキャリア形成について積極的に質問する姿が見られました。

《出講実績》

- ・実施期間：6月28日～2月28日
- ・参加者：児童・生徒 2515人、留学生 延べ67人
- ・出講校数：延べ21校 70クラス（小学校7校、中学校7校、高校2校、中高一貫校5校）
- ・先生の満足度：93%



「小学校英語活動」にて英語で国旗の意味を説明するウガンダの留学生



民族衣装アオザイに直接触れてもらうことで、ベトナムの暑さを知ってもらう留学生

イ グローバル人材の育成

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校が実施した「英語による研究発表会」に留学生22人が参加し、英語での質疑応答を通じ、150人の中高生と交流を図りました。

また鶴見大学附属中学高等学校で放課後に開催されるイングリッシュカンパセーションラウンジに3か国の留学生を派遣し、英語力の強化と交流に努めました。

- ・実施期間：4月21日～2023年3月18日



『英語による研究発表会』（横浜市立横浜サイエンスフロンティア高校にて）




(2) 市民文化交流事業

ア 国際理解講座、交流会・研究発表会

2021 年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主催講座の多くをオンラインにて開催し、年度後半から対面式による講座に移行しました。留学生による文化講座 2 講座は春期・夏期はオンライン形式で、冬期は対面式で実施し、地区センター（潮田・寺尾）との共催講座は対面式で 3 講座開催しました。

語学講座については、マンツーマンの会話サロン 46 講座を全てオンラインで実施しました。

- ・講座数:51 講座(実施)
- ・参加者:市民等 353 人 留学生 57 人
- ・受講者の満足度:事業名の後の()内に%で示しました。

実施日	講座名	
5 月 7 日 ~7 月 9 日	春期オンライングループ英会話 (79%) 土曜午後中級・上級 水曜夜中級・上級 25 講座	
7 月 30 日		寺尾地区センター共催講座 「留学生に学ぶマレーシアの多文化社会」 ~言語・教育・食文化~(100%)
8 月 6 日	留学生による文化講座 「もっと知りたいネパール・ポカラの今」 オンライン式(82%)	

実施日	講座名	
8月20日 ～9月4日	夏期オンライン会話サロン 4言語(英語、中国語、 韓国語、ペルシャ語) 12講座	
12月3日	留学生による文化講座 「今、とっても気になるベトナム」対面式 (92%)	
12月24日 ～2月25日	冬期オンライングループ英会話 (89%) 土曜午前・上級5回 土曜午後・中級5回 10講座	
2月25日	潮田地区センター共催講座「ヴェネツィアの魅力を語る～ヴェネツィア留学生講演会」 (90%)	
3月4日	寺尾地区センター共催講座 「留学生に学ぶ～カナダの魅力・多文化共生～」 (93%)	
通年	民族衣装貸し出し(5件) 市立南太田小学校、イムス国際看護専門学校、鶴見国際交流ラウンジ他	

イ ホームビジット

2022 年度は、夏期は新型コロナウイルスのため中止しましたが、状況が落ち着いてきたため、3 年ぶりに春期(2~3 月)は行うことができました。ホームビジットボランティアに登録している家庭に前もって状況を聞き、「受け入れ可能」と回答のあった家庭のみをお願いし、5 人の留学生在がホームビジットで訪問することができました。



2 地域貢献事業

(1) 災害対策

毎年 2 回行われる潮田交流プラザ三施設合同の防災訓練に加えて、学生会館が所属する地域の防災訓練にも積極的に参加しております。10 月に行われた自治会主催の地域防災拠点開設訓練には 7 名が参加し、11 月に行われた西部地区防災訓練には 4 名が参加しました。地域の人との交流を深めると共に、実際に体を動かしながら防災について学ぶことができました。



自動翻訳機使用の練習

防災訓練の詳細は、「第 4 章総務関係 2 危機管理」に掲載しました。



(2) 地域イベント等への参画/参加

潮田地区の5 連合自治会と協働で開催している潮田交流プラザ秋まつりが、2022 年度は3 年ぶりに開催されました。厨房を使った屋台料理の出店は控え、8 か国のお菓子和飲み物を購入してきて提供する「インターナショナルカフェ」を担当したり、ステージイベントに出演したりしました。例年行ってきた地域行事(潮田神社祭礼の神輿渡御、潮田西部地区連合盆踊り大会、潮田西部地区大運動会、本町四丁目自治会もちつき大会)も、縮小ながら開催され、久しぶりに留学生たちが地域と交流できる機会になりました。

小野町で開催されたアートイベント「We Trees TSURUMI」には、2021 年度から引き続き留学生のメッセージを届け、藝大生がビデオ撮影・制作で関わったり、メッセージカードの多言語化等で協力したりし、参加から参画に近づいた協力ができました。



3 留学生支援事業

(1) 留学生への日本語支援

マンツーマンの日本語レッスンを希望する留学生に、ボランティアチューターを紹介していますが、2022 年度は2020～2021 年度よりも新型コロナウイルスの影響を受けず紹介することができました。コロナ発生後からオンラインレッスンを始めたペアが、引き続き継続しているところもありました。

2022 年度、新たにボランティアの企画・運営・実施によるグループ活動を取り入れ、ボランティアや留学生・地域の横のつながりをもつきっかけ作りをしました。2020 年度から行っているボランティア主体事業も引き続き実施しています。

- ・ボランティア登録者:53 人
- ・日本語マッチング件数:13 件
- ・マッチング成立率:100%
- ・講座・交流会参加者:180 人(市民、留学生あわせて)



実施日	内 容
5月～2月	留学生とボランティアを随時マッチング
6月12日(日)	ボランティア主体事業①Enjoy! ORIGAMI
7月2日(土)	ボランティア情報交換会
8月14日(日)	ボランティア主体事業②横浜ベイブリッジ スカイウォークを歩こう
10月2日(日)	グループ日本語教室企画 meeting①
10月2日(日)	ボランティア主体事業③バザー
10月5日(水)	グループ日本語教室企画 meeting②
11月19日(土)	YISH 3 rd Place①アイスブレイキング、自己紹介
12月10日(土)	YISH 3 rd Place②ランドマークタワー&みなとみらい散策
1月14日(土)	YISH 3 rd Place③書道
1月28日(土)	YISH 3 rd Place④カルタと節分
2月18日(土)	YISH 3 rd Place⑤ひなまつりと折り紙
2月26日(土)	ボランティア情報交換会&研修会

(2) 就職・生活相談支援

留学生のための就職サポートとしては、年間を通じて国際学生会館の就職支援ボランティアが中心となりマンツーマンで「留学生のための就職個別相談」を行っています。セミナーは、2022年度は4月と6月に主に専門学校生対象に開催し、2月には、OBOGによる就職体験談を聞く会を開催しました。

2020年度のコロナ禍から入居者の生活状況を把握するため、オンラインアンケートを実施してきました。



- ・講座・イベント参加: 留学生 57人、ボランティア等 延べ9人
- ・就職個別相談: 留学生 延べ35人、ボランティア等 延べ35人

※学生会館内で行ったもののみを集計。実際は個別に外で実施している場合も多い。

実施日	内容
4月～3月	留学生のための就職個別相談(対面/オンライン)
4月23日(土)～	入居者への支援物資の配給①
4月24日(日)	外国人留学生のための就職セミナー1 専門学校生対象「就職活動の始め方とスケジュール」
6月26日(日)	外国人留学生のための就職セミナー2 専門学校生対象「日本で就職する時に気を付けること、SPI、面接」
6月15日(水)～6月28日(火)	入居者オンラインアンケート
6月29日(水)～7月18日(月)	入居者への支援物資の配給②
9月2日(金)～9月9日(金)	レジデントアシスタント(RA)アンケート
9月19日(月・祝)	[YISH CLUB]鶴見園スタンプラリー(ウォークラリー)
11月13日(日)	[YISH CLUB]ランニングイベント
12月4日(日)	[YISH CLUB]鶴見駅からの挑戦状～ウォーク&クイズラリー
2月12日(日)	就職体験談を聞く会&OB・OG会

(3) 留学生会支援

月例の留学生会のミーティング(YRA ミーティング)とレジデントアシスタントのミーティング(RA ミーティング)を開き、入居者と職員との情報交換、意見交換の場としました。また、留学生会は独自に主体企画イベントを実施したほか、学生会館との共催で歓迎会・送別会を開催しました。

※ 留学生会(YRA)は、入居者が会員になっている親睦組織。

※ レジデントアシスタント(RA)は、日本国籍または日本永住権を持つ外国籍の学生。

職員と協力して学生会館の運営にあたる役割を担っています。

・YRA ミーティング、RA ミーティング: 14回、参加者: 188人

・留学生会と学生会館との共催事業: 4回、参加者: 216人

実施日	内容
4月20日(水)	オンライン Welcome Meeting (歓迎会)
6月28日(水)～7月9日(土)	七夕短冊飾り
9月25日(日)	秋の YISH Welcome Meeting(歓迎会)
3月11日(土)	YISH Farewell Party (送別会)



歓迎会の様子



送別会の様子

・留学生主体事業：11回、参加者：234人

実施日	内容
6月25日(土)	BBQ
6月26日(日)	書道 with 慶応大生
7月27日(水)	お茶会
7月30日(土)	花火大会
11月6日(日)	たこ焼きパーティ
11月20日(日)	鎌倉へ行こう!
11月23日(水)～ 12月6日(火)	サッカーワールドカップ観戦
12月17日(土)	横浜市民防災センター訪問
12月17日(土)	忘年会
2月3日(金)	節分 恵方巻を食べよう
2月25日(土)	和菓子作り体験



BBQの様子



忘年会の様子



書道 with 慶応大生の様子

4 行政施策への協力

9月に北九州市次世代産業課の施設視察、11月に汐入小学校の児童・教員の訪問を受け入れました。元街小学校で外国人児童の母語ボランティア、サイエンスフロンティア高校ポスター発表会でのオブザーバーとして留学生が協力しました。また、横浜市鶴見区委託事業外国人意識調査にも留学生が協力しました。その他、2月1日に横浜市中区の関内ホールで開催された県内の各種専門学校の外国人留学生による日本語スピーチコンテストに学生会館の館長が審査員として参加しました。

5 広報事業

(1) 独自媒体を使った広報

ア 『よこはま地球村』の発行

季刊紙『よこはま地球村』を発行しました。

- ・発行日： 112号(夏号 6月1日)、
113号(秋号 9月1日)、
114号(冬号 12月1日)、
115号(春号 3月1日)
- ・体裁:A3 二つ折一色刷
- ・発行部数:各号 1,700部



よこはま地球村 115号

イ ホームページ・フェイスブックによる情報発信(日本語・英語)

学生会館のホームページを 2022 年度新しくしました。また、学生会館の開催するイベント情報や留学生の日常生活の様子を、学生会館ホームページや横浜市国際交流協会 Facebook で随時発信しました。

(2) 外部媒体を使った広報

広報よこはま「鶴見区版」、鶴見区民活動センター発行の「あぶりお」、全国紙、地方紙、専門情報紙、ミニコミ紙などさまざまな媒体を使ってイベント参加者や入居者を募集しました。

第6章 イベントカレンダー

(2022年4月1日～2023年3月31日)

2022年

	開催日	事業名
4月	1日(金)～7日(木)	入居期間特
	1日(金)～	ボランティア登録及びボランティアとのマッチング
	8日(金)	新入居者オリエンテーション
	9日(土)	新入居者オリエンテーション
	20日(水)	オンラインWelcome Meeting(歓迎会)
	23(土)	潮田交流プラザ合同消防訓練
	23(土)～	支援物資の配給 (Stock Base)
	24(日)	外国人留学生のための就職セミナー @就職活動の始め方とスケジュール
	27日(水)～3月17日(金)	民族衣装貸出
5月	12日(木)～2月16日(木)	鶴見大学附属中学校・高等学校 English Conversation Lounge
	9日(月)～19日(木)	第2次入居者募集
	7日(金)～7月9日(月)	春期オンライングループ英会話
6月	1日(水)	ニュースレター よこはま地球村112号 発行
	1日(水)	「2021年度事業報告書」 発行
	1日(水)	第2次採用者入居開始
	5日(日)	潮田神社祭礼
	12日(日)	【ボランティア主体事業①】ENJOY! ORIGAMI
	15日(水)	第1回安否確認メール送受信訓練
	15日(水)～28日(火)	入居者へのオンラインアンケート
	16日(木)～11月11日(金)	潮田交流プラザ秋まつり実行委員会
	25日(土)	[YRA自主事業]BBQ
	26日(日)	[YRA自主事業]書道with慶応大生 専門学校生対象「エントリーシートの書き方」
	26日(日)	本町通四丁目町内清掃
	26日(日)	外国人留学生のための就職セミナー @気を付けること、SPI、面接
	28日(水)～7月9日(土)	七夕短冊飾り
	28日(火)～2月28日(火)	留学生の出前授業
	29日(水)	NHK WORLD&Stock Baseインタビュー協力
	29日(水)～7月18日(月)	支援物資の配給(Stock Base)
7月	2日(土)	ボランティア情報交換会
	6日(水)～8月31日(水)	鶴見小野町We Trees TSURUMI イベントメッセージ協力
	23日(土)	西部地区合同納涼祭
	27日(水)	[YRA自主事業]お茶会
	30日(土)	【共催】留学生に学ぶマレーシアの多文化社会～言語・教育・食文化～(潮田地区センター)
	30日(土)	[YRA自主事業]花火大会

2022年

開催日		事業名
8月	6日(土)	留学生による文化講座「ネパール」
	14日(日)	【ボランティア主体事業②】横浜ベイブリッジ スカイウォークを歩こう
	29日(月)~9月14日(水)	第3次入居者募集
9月	1日(木)	ニュースレター よこはま地球村113号 発行
	2日(金)~9日(金)	RAアンケート
	19日(月)	[YISH CLUB] 鶴見線スタンプラリーウォークラリー
	21日(水)	市大交換留学生入居説明会
	26日(土)	潮田交流プラザ秋まつり準備
	25日(日)	潮田交流プラザ秋まつり
	25日(日)	秋のYISH Welcome Meeting(歓迎会)
	25日(金)	北九州市次世代産業課施設視察
10月	2日(日)	【ボランティア主体事業③】バザー
	2日(日)、5日(水)	日本語教室企画打合せ
	9日(日)	西部地区スポーツの集い
	15日(土)	つるみ臨海フェスティバル
	16日(日)	第3次採用者入居開始
	23日(日)	地域防災拠点開設訓練(汐入小学校)
	29日(土)	鶴見小野町We Trees TSURUMI イベント
	11月	6日(日)
6日(日)		[YRA自主事業]たこ焼きパーティ
12日(土)		うしおだ市イベント
13日(日)		[YISH CLUB]ランニングイベント
17日(木)、24日(火)		汐入小学の児童と校教員の会館訪問
19日(土)~2月18日(土)		YISH 3rd Place(日本語教室)
20日(日)		[YRA自主事業]鎌倉へ行こう!
23日(水)~12月6日(火)		[YRA自主事業]サッカーワールドカップ観戦
12月	1日(木)	ニュースレター よこはま地球村114号 発行
	1日(水)	2023年度入居者募集案内の配布
	3日(土)	留学生による文化講座「ベトナム」
	4日(日)	[YISH CLUB] 鶴見駅からの挑戦状~ウォーク&クイズラリー
	10日(土)~17日(土)	防災Week展示
	10日(土)	3施設合同避難訓練
	11日(日)	本町通4丁目餅つき大会
	15日(木)	第1回退館者説明会
	17日(土)	[YRA自主事業]横浜市民防災センター訪問
	17日(土)	[YRA自主事業]忘年会
	24日(土)~2月25日(土)	冬期オンライングループ英会話

2023年

開催日		事業名
1月	16日(月)	入札説明会
	25日(水)	第2回安否確認メール送受信訓練
	27日(金)	2023年度入居者募集締切
	28日(土)	新入居者(RA)面接
2月	1日(水)	日本語スピーチコンテストの審査
	3日(金)	入居審査会
	3日(金)~3月8日(水)	ホームビジット(春期)
	3日(金)	[YRA自主事業] 節分イベント 恵方巻を食べよう
	7日(火)	入札
	12日(日)	就職体験談を聞く会&OBOG会
	25日(土)	[YRA自主事業] 和菓子作り体験
	25日(土)	【共催】ベネチアの魅力~ベネチア留学生の講演会(潮田地区センター)
26日(日)	ボランティア情報交換会&研修会	
3月	1日(水)	横浜市鶴見区委託事業 外国人意識調査
	1日(水)	ニュースレター よこはま地球村115号 発行
	1日(水)	第1回入居契約説明会
	2日(木)	第2回入居契約説明会
	4日(土)	【共催】留学生に学ぶ カナダの魅力・多文化共生 (寺尾地区センター)
	5日(日)	第3回退館者説明会
	8日(水)	第3回入居契約説明会
	11日(土)	YISH Farewell Party (送別会)
	18日(土)	サイエンスフロンティア高校ポスター発表会参加
	24日(金)	市大交換留学生退館最終日
	28日(火)	退館最終日

第7章 2022年度 予算決算書

(単位 千円)

		内 訳	予算額	執行額	備 考
収入項目	指定管理料	人件費	35,928	35,928	
		事業費	2,725	2,725	
		管理運営費	59,304	59,304	
		受託収入	0	2,974	光熱費差額
		小 計	97,957	100,931	
	その他の収入	事業収入	800	100	
		寄付金収入	0	20	
		設備機器利用料収入	3,600	4,117	
		雑収入等	102	43	
		小 計	4,502	4,280	
収入合計			102,459	105,211	

支出項目	人件費	館長、副館長、職員(4人)、非常勤職員(3人) 計9人	35,928	34,635		
	事業費	留学生・市民交流事業費	2,725	1,768		
	管理運営費	運営費(事務費)		6,568	4,063	
		公租公課費		3,200	4,194	
		委託費		31,000	28,146	
			設備管理	10,000	9,450	
			設備点検	6,500	5,248	
			警備	5,400	5,598	
			清掃	9,100	7,850	
		修繕費		6,906	5,665	副受信機修繕工事繰延
		施設管理者保険料		102	102	
		光熱水費		16,030	19,004	
			電気	9,500	10,965	
			ガス	2,030	1,905	
			上下水道	4,500	6,133	
		経営安定積み立資産取得及び一般会計繰入		—	—	
	小 計		63,806	61,174		
	支出合計			102,459	97,577	

当期収支差額	0	7,634	
--------	---	-------	--

第8章 留学生統計

1994年5月の会館創立以来28年間に、多くの国・地域の留学生が入居しました。その数は2022年度末で89か国・地域の2,142人に上ります。学生たちは現在、日本国内で、世界各地で、学問、芸術、政治、経済、行政、司法等あらゆる分野で活躍しています。

学生会館 OBOG の出身国・地域別状況

2023年3月31日現

出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数
1 中国	958	24 ミャンマー	11	47 チェコ共和国	4	70 ガーナ	1
2 韓国	292	25 フランス	10	48 ハンガリー	4	71 カザフスタン	1
3 日本	95	26 エチオピア	9	49 メキシコ	4	72 ガボン	1
4 台湾	87	27 パキスタン	9	50 ヨルダン	4	73 ギリシャ	1
5 ベトナム	68	28 カメルーン	8	51 ウガンダ	3	74 コロンビア	1
6 アメリカ	57	29 カンボジア	8	52 トルコ	3	75 コンゴ民主共和国	1
7 ネパール	42	30 ブータン	8	53 南アフリカ	3	76 シエラレオネ	1
8 インドネシア	36	31 スペイン	7	54 クロアチア	2	77 ジンバブエ	1
9 マレーシア	32	32 フィンランド	7	55 ザンビア	2	78 スウェーデン	1
10 イタリア	28	33 ロシア	7	56 ノルウェイ	2	79 チュニジア	1
11 モンゴル	27	34 イラン	6	57 ポーランド	2	80 チリ	1
12 スリランカ	26	35 ブルガリア	6	58 マダガスカル	2	81 トルクメニスタン	1
13 バングラデシュ	26	36 香港	6	59 南スーダン	2	82 パナマ	1
14 インド	23	37 ラオス	6	60 ユーゴスラビア	2	83 パラグアイ	1
15 タイ	22	38 ルーマニア	6	61 ルワンダ	2	84 ベルギー	1
16 ブラジル	20	39 ウズベキスタン	5	62 アイルランド	1	85 ボスニアヘルツェゴビナ	1
17 カナダ	16	40 セネガル	5	63 アフガニスタン	1	86 ボツナワ	1
18 ナイジェリア	13	41 マラウイ	5	64 アルゼンチン	1	87 モルドバ	1
19 オーストラリア	12	42 オーストラリア	4	65 イエメン	1	88 ラトビア	1
20 イギリス	11	43 キルギス	4	66 イスラエル	1	89 リベリア	1
21 エジプト	11	44 ケニア	4	67 ウクライナ共和国	1	合計	2142
22 ドイツ	11	45 シリア	4	68 オマーン	1		
23 フィリピン	11	46 タンザニア	4	69 オランダ	1		

全国の状況

2022年5月1日現在

留学生数の推移(独立行政法人日本学生支援機構資料による)

2019年	2020年	2021年	2022年
312,214人	279,597人	242,444人	231,146人

出身国・地域別留学生数

国・地域	留学生数 ()内は2021年度	構成比 ()内は2021年度
1 中国	103,882人(114,255人)	44.9%(47.1%)
2 ベトナム	37,405人(49,469人)	16.1%(20.4%)
3 ネパール	24,257人(18,825人)	10.4%(7.8%)
4 韓国	13,701人(14,247人)	5.9%(5.9%)
5 インドネシア	5,763人(5,792人)	2.4%(2.4%)

※国の統計には、2011年度から日本語教育機関に在籍する留学生数も含まれるようになりました。2020年の達成を目指した「留学生30万人計画」は、1年前倒して達成されています。

